

御降誕八〇〇年を迎えて — これからの祈り —

日蓮聖人 門連だより

発行
日蓮聖人門下連合会

〒146-8544
東京都大田区池上1-32-15
電話 (03) 3751-7181
https://nichiren-monka.org/

令和3年2月16日
第63号



日蓮宗大本山
小湊誕生寺貫首
石川日命猊下

全国日蓮大聖人ご門下、各ご寺院教会結社教師上人、並びにご門下全国檀信徒の皆様方と共に、ここに宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年のご聖日を迎えられますこと、心よりお慶びを申し上げます。

ご聖日をお迎えするに当たり、小湊の磯に立ち、改めて外房の太平洋の彼方を眺望しますと、あまりにも広大な太平洋の荒波に比して、私達人間は、穏やかな入り江しか目に映らない心の動きに複雑な思いを巡らせます。貞応元年(一二二二年)二月十六日、当地千葉県小湊にご生誕されたお祖師様(日蓮大聖人)は、小さな入り江から出航する先にある、すべてを包み込む大海原を見透され、全人類に向けた大きな教えを示され

ました。その大海原は、人間にとって大事な命の源であり、心の底からもう一度立ち上がる信念を彷彿させ、強い嵐にもひたすら耐える息吹を感じさせるものがあります。そうした外房の海を眺めていますと、何か御題目の源泉がここにあるように思えてなりません。

お祖師様ご生誕に当たり、生家に(一)清水が湧き、(二)深海から鯛が浮上し、(三)蓮華の息吹が咲き誇ったという、お祖師様ご誕生に関わる「三奇瑞」の伝承と共に、御題目を唱える人々の姿を、微塵の如き「五色の砂」になぞられるのも、聖地小湊そのものが御題目を顕していると言っても過言ではない念いが、聖地に立つてみてわかると思うの

は私だけかもしれないませんが、そんなことを切々と感じる昨今であります。実は、今年御降誕八〇〇年を迎えるに当たり、私がどうしてもやりたいことがありました。それは、改めてもう一度御題目そのものを見つめたいということでした。お祖師様ご生誕され、八〇〇年の間、御題目は数え切れない多くの人々を救い、多くの人々に光りを与え、多くの人々に生き方を教えて来られました。しかし、悲しいかな、御題目が大海原の如く大きければ大きいほど、少なからず、いろいろな意見を生んできたことも事実でした。歴史・教理・教団等の観点で反映されればされるほど、また別の側面が生まれてくるという性質は、御題目にまた多くの側面を生み出し、御題目に特異性まで醸成させてしまい、協調性を失う原因ともなってしまう歴史が少なからずあったことは否定できないのではないかと。

そんな想いから、お祖師様御降誕八〇〇年を迎えるに際し、歴史・教理・教団をまず横に置いて、素直に御題目の徒となつて、御題目を唱えることをしたい。まずその中であつて御題目を唱えてみて、そこから生まれるものがあると思つておりま

らば、聖地小湊でしか、生まれてはこないという切々たる念いが私にはあつたのです。

幸い、令和二年の御降誕七百九十九年に、その願いが叶いました。歴史・教理・教団にとらわれない徒と、御題目を唱えてみて、我が心に湧いたものは、感激の涙と共に、大海原が見える御題目でした。聖地の御題目は必ず御題目の徒を生み出せるという光でした。聖地小湊だからこそできる、目先の歴史・教理・教団にとらわれない御題目があつていいのではないのでしょうか。

こんな御題目を唱えたら、歴史・教理・教団はどうなるのか。いや、そうしたことにとらわれず、唱えられる御題目があつていいのではないのでしょうか。それが聖地小湊の御題目だと思つておりま



誕生寺山門

從地ゆじゅつ

◆宗祖日蓮大聖人聖誕八〇〇年の聖年を迎える今年、未だコロナウイルスの感染は全世界に及び、災厄は全人類に多大な被害を及ぼしている。米英に於いてはワクチン接種が始まったが、その沈静化終息は予想がつかない。

◆日蓮大聖人は「人の悪心盛んなれば、天に凶変・地に凶天出来ず。曠世の大小に随い天変の大小あり。地天も又かくの如し」『瑞相御書』とお示しになっている。まさに驕れる人類への、生命体地球からの厳罰に等しい警告である。もちろん、亡くなった方々、罹患された方々には何ら罪はないが、文明発展大義の下、地球環境を破壊汚染し続けた結果であろうか。

◆我が日本国に於いても、日常生活で「不要不急」自粛・縮小・中止と自由行動制限を受けている。一部には「自粛警察」なる、過剰な反応があり、人権弾圧に近い自粛強要もある。各寺・各聖も年間行事・日々の法務で、甚大なる影響を受けておられると拝察する。ソーシャルディスタンス、三密回避と人の接触に不自由さを感じる。リモート・オンライン会話等と、それなりのつながりに、社会は対応しているが、やはり対面での交流が人情としては、望ましいものである。十年前の東日本大震災当時盛んに《絆》が強調されたが、その《絆》が、断ち切れ、薄らいだ感がある。乾いた、殺伐とした、心象を受ける。

◆天皇陛下が元日、ビデオメッセージでお言葉「皆様お互いに思いやりを以て助け合い、支えながら、進んで行くことを心から願っています」と全国民に向けて述べられた。この令和の玉音放送ともいえる陛下のお言葉を励みにコロナ禍に向かつていきたいものである。幾多の災厄困難を克服してきた、日本国民の無限の可能性を期待したい、信じて。(光)

日蓮聖人門下連合会京都理事会 並びに結成六十周年記念法要開催さる

令和二年十月二十二日
 (木)、日蓮聖人門下連合会
 京都理事会並びに門下連合会
 結成六十周年記念法要が顕
 本法華宗総本山妙満寺にお
 いて開催され、全門連及び
 京都門下連合会各聖各位、
 大阪門下懇話会理事長等、
 計五十三名が出席した。

午後二時、日蓮聖人門下
 連合会結成六十周年記念法
 要を開式。会場寺院である
 妙満寺の大川日仰貫首猊下
 (門下連合会顧問・京都門
 下連合会会長) 大導師のも
 と、副導師を吉永義康京都
 門下連合会理事長、橋本一
 妙京都門下連合会副理事長
 が勤め、京都日蓮宗雅楽会
 の厳肅たる雅楽演奏の中、
 参加者一同が本堂に参列し
 て法味を言上した。

式中、大川日仰貫首猊下
 より表白文が奉呈され、門
 下連合会結成六十周年に至る
 歴史と先師のご法功が讃え
 られ、併せて門下連合会の
 尚一層の結束と発展が誓願
 された。

続いて吉永義康副導師よ
 り結成五十周年以降にご遷
 化された門下連合会先師
 二十六名の法名が読み上げ
 られ、門下連合会理事長、中
 川法政理事長が座長となり



結成 60 周年記念法要



大川日仰猊下による表白文奉呈



吉永京門理事長による先師靈簿読み上げ



理事会風景



令和2年 日蓮聖人門下連合会「京都理事会」結成60周年記念法要 令和2年10月22日 於・顕本法華宗 総本山妙満寺



祝辞を述べる中川理事長

続いて日蓮聖人御降誕
 八〇〇年記念慶讃事業につ
 いて、事務局より進捗状況
 が報告された。また、慶讃
 事業が終了するにあたり、
 「その他」の議題として
 事務局より、「オペラ日蓮
 の宇宙〜曼荼羅世界〜」の
 公演に関し提案、報告が行
 われた。本企画は身延山久

遠寺が日蓮聖人降誕八百年
 慶讃記念として企画、制作
 されたもので、門下主催と
 して関西方面での公演を依
 頼されたものである。事務
 局並びに常任理事会等で引
 き続き開催について検討し
 ていくことが承認された。
 なお、身延山では令和三年
 九月に公演が予定されてい
 る。

午後五時に閉会。例年、
 理事会後に催される懇親
 会は新型コロナウイルス
 の影響を鑑み、やむなく
 中止となった。事務局よ
 り、今回の結成六十周年を
 祝した記念品(有田焼カッ
 プ)が作られた事が報告さ
 れ、出席者に配られた。
 次回開催は日蓮宗本山、
 頂妙寺を予定している。

奉祝 日蓮聖人御降誕八〇〇年

日蓮宗宗務院

管 長 菅野日彰 財務部長 木村吉孝
 宗務総長 中川法政 宗務総長室長 木内隆志
 伝道局長 塩田義徹 現代教研究員 三原正資
 総務局長 生駒雅幸 参 与 渡邊義生
 伝道部長 関 本城 参 与 田中智海
 教務部長 栗原啓允 日蓮新聞社長 館岡壽宣
 総務部長 高津憲周

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五
 電話 〇三(二七五)七一一一
 FAX 〇三(二七五)七一八六
<https://www.nichiren.or.jp>

法華宗(本門流)宗務院

管 長 小西日遼
 宗務総長 二瓶海照
 総務部長 三吉廣明
 教学部長 清水常光
 布教部長 吉崎長生
 財務部長 久野晃秀
 企画部長 平田義生

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一
 電話 〇三(五六)四三〇五五
 FAX 〇三(五六)四三〇五六
<http://www.hokkeshu.or.jp>

顕本法華宗宗務院

管 長 大川日仰
 宗務総長 河野時巧
 宗務次長 吉永義康
 教務部長 小松正学
 財務部長 吉田諦規
 庶務部長 小島芳明
 社会部長 齊藤成貴
 布教部長 朝倉俊泰

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
 電話 〇七五(七九)七一一一
 FAX 〇七五(七九)七二六七

法華宗(陣門流)宗務院

管 長 門谷日悠
 宗務総長 西山英仁
 総務部長 牧野秀成
 企画部長 金原孝宜
 財務部長 西山聡達
 教学部長 布施義高
 教化部長 松吉慶憲
 宗務参事 田中隆寛

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六
 電話 〇三(三九)七二九〇
 FAX 〇三(三五)七〇一一

本門佛立宗宗務本庁

宗務総長 小西日演
 宗務副総長 西村日要
 宗務副総長 谷 信一
 教育局長 高須日因
 弘通局長 吉田日景
 総務局長 小野山日将
 広報局長 柏 日胤
 財務局長 小林日就
 奉賛局長 松本日就

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地
 電話 〇七五(四六)一五六六
 FAX 〇七五(四六)五九九九

日蓮本宗宗務院

管 長 丹治日遠
 宗務総長 原田智光
 財務部長 柳下正則
 総務部長 柳下正則

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
 電話 〇七五(七七)三三九〇
 FAX 〇七五(七七)五九一四

法華宗(真門流)宗務庁

管 長 上田日猷
 宗務総長 堀 智泰
 総務部長 堀内浩善
 教学部長 峰尾泉栄
 教化部長 木田慧明
 社会部長 坂本法保
 財務部長 寺田良正
 参 与 木村完祥

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五上ル紋屋町三三〇
 電話 〇七五(四四)五七六二
 FAX 〇七五(四四)五六六六

本門法華宗宗務院

管 長 別所日山
 宗務総長 香川日憲
 宗務部長 増田隆雄
 宗務部長 吉村日彦
 財務部長 高邊晶啓
 教務部長 山下揮正
 庶務部長 松本真隆

〒602-8418 京都市上京区之内通大宮東入大木山妙蓮寺内
 電話 〇七五(四五)三三二七
 FAX 〇七五(四五)三五九七

宗教法人 国柱会

賽 主 田中壮谷
 理事長 原田義彦
 門連理事 森山真治
 門連理事 藤本坦孝
 編集委員 的場春奈

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八
 電話 〇三(三六)七二二(代)
 FAX 〇三(三六)九九八〇
<http://www.kokuchukai.or.jp>

日本山妙法寺大僧伽

首 座 吉田行典
 責任役員 今井行康
 同 木津博充
 同 川岸行孝
 同 武田隆雄
 同 長濱行豊
 同 行徳行得

日本山妙法寺大僧伽事務局
 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町八一七
 電話 〇三(三四)九三六三
 FAX 〇三(三四)九三六七

京都日蓮聖人門下連合会

会 長 上田日瑞
 副会長 別所日山
 理事長 橋本一妙
 副理事長 佐野充照

京門連事務局
 〒606-8376 京都市左京区二条通川端東入大菊町九六
 電話 〇七五(七六)二四一一
 FAX 〇七五(七五)九三三八

大阪日蓮聖人門下懇話会

理事長 佐野貫順 問 藤村恵容
 副理事長 末澤禎隆 問 門谷光瑞
 問 奥邨正寛 問 中村日游
 問 木下恵温 問 東 孝信
 問 佐藤哲夫

〒542-0012 大阪府大阪市中央区谷町八一-一四一
 電話 〇六(六七)一九〇九
 FAX 〇六(六七)一九〇九
 妙光寺内

祝門連結成六十周年



日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野日総
総務 持田日勇

〒409-2593 山梨県南巨摩郡身延町身延三五六七
電話 〇五五六(六二)一〇一一
FAX 〇五五六(六二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貫首 菅野日彰
執事長 鈴木弘信
役員一同

〒146-8576 東京都大田区池上一一一一一
電話 〇三(三七五二)一三三三一
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

法華宗(本門流)大本山 本能寺

貫首 桃井日英
執事長 佐藤泰慎
役員一同

〒604-8901 京都府京都市中京区寺町通御池下る
電話 〇七五(二三)五三三五
FAX 〇七五(二二)二八三八

顕本法華宗総本山 妙満寺

貫首 大川日仰
総務 吉永義康
執事 中村英司
執事 湯原正純
執事 土持悠孝
執事 藤本慧昌

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一
電話 〇七五(七九二)七二七一
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

慶讃 日蓮大聖人御降誕八百年
本成寺多宝塔修復落慶大法要
祠堂大法要・陣師講
令和三年六月十九日(二十一日)

貫首 門谷日悠

〒955-0845 新潟県三条市西成寺一(一一)二〇
電話 〇二五六(三三)〇〇〇八
FAX 〇二五六(三三)〇〇五九

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貫主 上田日猷
執事長 永岡悠希
執事 笹木研吾
執事 矢放啓亮
参事 本多信正

〒602-8447 京都市上京区智慧光院通り五辻上ル紋屋町三三〇
電話 〇七五(四四二)五七六二
FAX 〇七五(四四二)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貫首 別所日山
執事長 佐野充照
役員一同

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五
電話 〇七五(四五二)三五二七
FAX 〇七五(四五二)三五九七

日蓮宗 本山要法寺

貫首 丹治日遠
執事長 原田智光
執事 柳下正則

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇寺町四四八
電話 〇七五(七七二)三三九〇
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住職 高須日良
二十六世講者
執事長 白石日是
事務局長 栢森良道

〒602-8336 京都市上京区一条通七松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一
電話 〇七五(四六三)四六二〇(代)
FAX 〇七五(四六三)四六五一

京都八本山会

大本山 妙顕寺 貫首 及川日周
会本・本山 立本寺 貫首 上田日瑞
本山 本満寺 貫首 伊丹日章
本山 妙傳寺 貫首 野々垣日祐
本山 本法寺 貫首 瀬川日照
本山 妙覺寺 貫首 宮崎日嚴
本山 頂妙寺 貫首 田中日淳
大本山 本園寺 代務 川口日鷲

京都 法華門流懇話会

法華宗(真門流) 総本山本隆寺 貫主 上田日猷
顕本法華宗 総本山妙満寺 貫首 大川日仰
法華宗(本門流) 大本山本能寺 貫首 桃井日英
本門法華宗 大本山妙蓮寺 貫首 別所日山
日蓮宗 本山要法寺 貫首 丹治日遠
本門佛立宗 本山宥清寺 講者 高須日良
法華宗(陣門流) 本山本禪寺 貫首 福井日進
顕本法華宗 本山寂光寺 貫首 大川日仰

日蓮宗大本山 清澄寺

日蓮聖人出家得度の霊場
旭が森銅像建立一〇〇年(令和四年)
別当 金子日厚
執事長 宮崎雅宣
役員一同

〒299-5505 千葉県鴨川市清澄三二二一一
電話 〇四(七〇九四)〇五二五

宗祖御降誕霊場 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り
貫首 石川日命
執事長 角濱監鏡

〒299-5501 千葉県鴨川市小湊一八三
電話 〇四(七〇九五)二六二一
FAX 〇四(七〇九五)二〇五五

日蓮宗霊跡本山比企谷 妙本寺

貫首 鈴木日敬

〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町一五一一一
電話 〇四六七(二二)〇七七七
FAX 〇四六七(二二)六九六七

日興上人御聖廟 法華本門寺根源

貫首 旭日重
参事 川名義顕
参事 井野上正文
執事長 鈴木春雄

〒418-0112 静岡県富士宮市北山四九六五
電話 〇五四四(五八)一〇〇四
FAX 〇五四四(五九)〇三〇三

日蓮宗大本山 中山法華経寺

貫首 新井日湛
参事 田代浩敬
参事 植田観樹
参事 松本慈恵
参事 関観亮

〒272-0813 千葉県市川市中山二一〇一一
電話 〇四七(三三四)三三三三
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 堀之内妙法寺

山主 山田日潮

〒166-0013 東京都杉並区堀之内三一四八一八
電話 〇三(三三三)六二四一
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮門下お題目初唱之霊場 藻原寺

貫首 持田日勇
総務 増田寶泉
執事 富永一道
執事 中川貫泰

〒297-0026 千葉県茂原市茂原一二〇一一
電話 〇四七五(二二)三一五三
FAX 〇四七五(二二)一一七三

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

貫首 井上日修
執事長 稲荷泰雅

〒110-0001 東京都台東区谷中四一三一五
電話 〇三(三八二)四三三三
FAX 〇三(三八二)七〇三三

門連時報

京都日蓮聖人門下連合会 事業開催

日蓮大聖人御降誕八〇〇年慶讃 小湊誕生寺団体参拝

京都門下連合会では日蓮聖人御降誕八〇〇年慶讃事業を御正当の前年として平成二十八年よりプロジェクトチーム編成し平成三十二年（令和二年）に向けて会議を重ね事業を企画立案してきた。例年の行事を春秋



誕生寺祖師堂集合写真



誕生寺内法要



清澄寺祖師堂



清澄寺摩尼殿

の二回に集約し春には顕本法華宗総本山妙満寺において慶讃大法要、秋には日蓮大聖人ご生誕の地、安房小湊大本山誕生寺へ団体参拝による慶讃大法要を企画した。春は予定通りの慶讃大法要を厳粛に奉修されたが、二月末ごろより新型コロナウイルス感染症患者が増え、四月七日政府の緊急事態宣言発せられ、その後落ち着きをもてたものの収束をみず、六月十八日臨時理



旭が森日蓮聖人像

大阪日蓮聖人門下懇話会 事業開催

第三十二回総会

コロナ禍の中、活動自粛が続く、令和二年の総会を理事・顧問会議で代行し、令和元年度の活動報告と令和二年の活動計画が合わせて承認された。

報告すべき行事は、第三十二回総会と合同御会式のみであり、本年度の行事としては、第三十一回研修会を予定。

第二十八回合同御会式

合同御会式が、昨年十一月二十九日大阪市中央区の日蓮宗妙光寺において開催され、佐野貫順理事長を導師に奉行され、コロナウイルス感染症の拡大の時期であり、理事長、副理事長、会計理事等役員のみ列席を得、一般参拝者は無参拝にて奉行され、無事終了した。

第三十一回研修会

研修会は、毎回年末に開催されているが、今回は翌年での開催を予定している（年度は令和二年）。開催予定は令和三年二月下旬〜三月上旬を予定。開催場所は、中央区谷町・妙光寺を予定。講師は、日蓮宗欣心寺住職・東孝信師。

職・東孝信師。

内容は、「私達日蓮門下として、『畜生界の反乱』ともいべきコロナ禍で迎えるご降誕八〇〇年をいかに捉えるか」。

第二十四回京都本山巡りバスツアー

元々、令和二年三月二十五日に計画し、本山は日蓮宗の立本寺、その後伏見桃山御陵参拝と伏見散策の計画は変更していない。コロナウイルスの状況に左右され、現状では実行時期は不明。一月中旬に開催の可否を検討する。

鳴川市『日蓮聖人生誕地海洋調査』へ寄付金贈呈

令和二年九月十六日に開催された常任理事会にて千葉県鳴川市が行う『日蓮聖人生誕地海底調査』への寄付が提案、承認され、同年十月八日、中川法政門下連合会理事長が同市役所を訪れ、亀田郁夫市長に金五十万円を贈呈した。

本調査は東京海洋大学の岩淵聡文教授協力の下、令和元年五月より実施。台風や新型コロナウイルスの影響



贈呈式に臨む中川理事長（右）と亀田市長（左）

響で延期が続いていたが令和二年九月、調査が再開された。贈呈にあたり中川理事長は「この調査には日蓮聖人への思いに対するロマンが込められており、門下連合会としてもこのロマン溢れる事業を共有したい」と期待を示し、亀田市長も「調査結果を只示すのではなく、日蓮聖人の生き方を含め紹介していきたい」と調査への意気込みが語られた。

小説『日蓮』発行のお知らせ

五木寛之氏の『親鸞』を読んだ時、浄土真宗が羨ましく思った。と同時に次回の展開を楽しみにしていてもいた。作品に惹きつけられ、五木寛之氏の描く『親鸞』の魅力に惹きつけられたのだ。我々門下には五木寛之氏がいないければ『親鸞』が如き作品も未だ現れていない。

御降誕八百年にあたって、広く日蓮聖人をアピールしていく方法として小説『日蓮』の刊行はできないものかと思いついていた折、小説新潮で佐藤賢一氏が連載を始めるという朗報が届いた。佐藤賢一氏は直木賞作家である、これが良い。加えて歴史学を専攻されている、

これはさらに良い。連載小説は、やはりと言うべきか、資料の取り扱いが誠に丁寧である。また『パッション』という連載小説の題名が、氏の独特の文体に合っている。作品を読み進めると、当時の様子がまざまざと浮かび上がってくる。まるで自分がその場にいるかのようになり、引き込まれてしまうのだ。『立正安国論』や法難のくだりは、歴史学を専攻した佐藤氏の正に面目躍如である。特に龍口法難の場面では、あたかも釈尊が着闍崛山の山中において無量義教菩薩法を説き終り眉間より白毫相の光を照らされた、まさにその中に映し出された末法法華経弘法の行者の如き描写であり、氏の洞察力の鋭さとイマジネーションの豊かさを感じさせられた。

連載小説『パッション』は、『小説日蓮』と改題され、単行本で発行される。こんな小説を待っていたのだと言いたい。



年月日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
令和三・一・一	大川日仰	京都門下連合会	顧問	就任	退任
令和三・一・一	上田日瑞	京都門下連合会	顧問	就任	退任
令和三・一・一	吉永義康	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
令和三・一・一	橋本一妙	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
令和三・一・一	橋本一妙	京都門下連合会	理事	就任	退任
令和三・一・一	佐野充照	京都門下連合会	理事	就任	退任
令和三・一・一	原井日鳳	法華宗（本門流）	顧問	就任	退任
令和三・二・一三	小西日遠	法華宗（本門流）	顧問	就任	退任

各派・教団・短信

下中央同志出席。十五日、妙宗大靈廟例月供養会。十六日、恩師御遺夜法要。十七日、恩師田中智学先生第八十二遠忌報恩大法要。十八日、申孝園ロータスヴィイラ自衛消防訓練。二十一日、日蓮聖人門下連合会機関紙編集会議(於、日蓮宗務院)に的場春奈編集委員出席。

本門法華宗

◆十月十二日、大本山妙蓮寺に於いて、鐘樓落慶奉告式を奉修。御導師別所日山院下により鐘の撞き始めが行われました。

◆十月十二日、大本山妙蓮寺(別所日山貫首)に於いて、宗祖日蓮大聖人御会式法要を奉修。十一月十二日、大本山妙蓮寺に於いて御開山日像菩薩御報恩法要並びに三師会・歴代人法要を奉修。

国柱会

◆令和二年十月一日、月旦国持。十日、日蓮聖人佐渡法難会慶讃法要。十二日、日蓮聖人御遺夜法要。十三日、日蓮聖人鶴林会報恩大法要。十七日、恩師御命日忌。賽主以下本部員靈廟常勤給仕。十八日、妙宗大靈廟例月供養会。二十二日、日蓮聖人門下連合会京都理事会(於、山真治常任理事出席)に森山真治常任理事出席。

◆十一月一日、月旦大国持。三日、明治節慶讃法要。賽主、明治神宮代表参拝。十日、信行相続式並びに帰正式厳修。十一日、小松原法難会慶讃法要。「明治の日」を目指す院内集会(於、参議院議員会館一階講堂)に、賽主以

八日、オペラ「日蓮の宇宙」文茶羅世界」を山梨県立県民文化ホール、二十九日に静岡市市民文化会館、三十日に身延町総合文化会館で公演する予定。(大澤宏明) ◆十月十五日「法華宗年表II」刊行奉告式(於、法華宗宗務院) ◆十一月十二日、大本山鷲山寺新本堂への遷座法要並びに宗祖日蓮大聖人第七百三十九遠忌法要(於、大本山鷲山寺) ◆十一月十三日、大本山本興寺開創六百年記念法要並びに宗祖日蓮大聖人第七百三十九遠忌法要(於、大本山本興寺)

京都門下連合会

令和三年度行事予定 ◆一月十九日(火)新年理事会(日蓮宗宗務所) 役職就任会長上田日瑞院下、副会長別所日山院下、理事長橋本一妙師、副理事長佐野充照師。 ◆二月十日(水)総会・御降誕会(日蓮宗本山立本寺) 導師立本寺貫首上田日瑞院下、講話コロナ感染症対策の為に中止。 ◆三月九日(火)理事会(日蓮宗宗務所) 立教開宗会の件等。 ◆四月二十八日(水)立教開宗会(比叡山横川定光院) 導師立本寺貫首上田日瑞院下。 ◆六月頃 門下本山会主催会。 ◆六月頃 全門連身延理事会(身延山久遠寺) 会長、理事長等出席。 ◆六月二十九日(火)理事会(日蓮宗宗務所) 第五十六回夏季大学の件等。 ◆八月二十八日(土) 第五十六回夏季大会(本能寺文化会館) 講師上田日瑞院下(本山立本寺貫首)、その他講師未定。 ◆同日 理事会(本能寺文化会館) 御会式の件等。 ◆十月二日(土) 御会式(日蓮宗本山妙覚寺) 導師宮崎日嚴院下、講師未定。 ◆十月下旬 全門連京都理事会(日蓮宗本山頂妙寺)。 ◆十二月二十一日(火)理事会(日蓮宗宗務所) 行事報告、会計報告の件等。 ◆十二月二十二日(水) 門下本山会主催会 当番日蓮宗本山立本寺。

日蓮宗

◆身延山久遠寺は九月二十

◆十月二十二日、オンラインにおいて全国布教師研修会並びに布教師会総会が開催された。研修会では、特命布教師・吉本乗明師を講師に迎え、「いま、人々の不安を取り除くために」と題する講義が行われ、その後、総会が開催された。 ◆十一月九日、オンラインにおいて東部・西部教区合同布教師講習会が開催された。特命布教師・吉本乗明師を講師に迎え、「カルトと顕本の布教の問題点」なぞカルトに惹かれ、顕本は檀家を増やせないのか」と題する講義が行われた。

法華宗(真門流)

◆九月七日、八日、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中央行学講習会(姫路開催予定)を中止。 ◆十一月十八日、研究発表会がZoomミーティングによるオンラインにて開催された。 ◆十一月二十五日、布教研究所所報編集会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。 ◆十二月四日、五日、新任職・学生・沙弥合同研修会がZoomミーティングによるオンラインで開催された。教学だけでなく、講師の体験を交えた布教活動の実践についての講義を受け、新任職は研鑽に励んだ。(佐古弘純)

◆高祖日蓮大士ご降誕の2月16日に因み、昨年10月から毎月16日午前8時1時間、「高祖日蓮大士御降誕800年慶讃 全国統一口唱会」を開催。本山宥清寺の口唱会をYouTubeでライブ配信し、佛立第26世講有高須日良上人から毎月、報恩御奉公成就にむけ全国の教講に激励の言葉を送信している。 ◆昨年11月1日、ブラジル大宣寺高祖会併ブラジル仏教初祖茨木日水上人御50回忌法要が佛立第26世講有高須日良上人、唱導のもと日伯同時ライブ中継しインターネット配信を行って奉修した。予定していた同時期のブラジル教区御講有巡教および日本国内からの団参は新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止となった。そこで同宗伯国教区では伯国へ仏教を始めて伝えた茨木日水上人の50回忌を大宣寺高祖会にあわせて行った。 ◆令和2(2020)年12月18日(令和3(2021)年5月23日)まで、京都佛立ミュージアムでは「SDGsと仏教展」がスタート。コロナ2030への羅針「」を開催。新型コロナウイルスに起因する世界同時災禍の今、SDGsの達成期限と定められる「アフターコロナ2030」に向けて、真に豊かな人生と社会の実現を目指し、皆様とともに進むべき方向を考える企画展が開催している。 ◆令和3年1月6日より2月5日、寒参詣が実施されている。本年は寒参詣期間中の御法門を本門佛立宗門ホームページより動画配信している。(松本現薫)

本門佛立宗

◆令和2年9月27日、「第7回青少年の一座へのプロローグ」が本山宥清寺に於いてYouTubeライブで配信された。コロナ禍で開催の延期や内容変更が余儀なくされる中、実行委員会からの趣旨説明の後、宗務本庁弘通局長吉田日景師の唱導のもと一座の法要が行われた。御法門はブラジル隆昌寺住職・コレイア日友師がブラジルからオンラインで行い、最後に実行委員会が本年の本大会に向け参加を呼びかけた。 ◆令和2年10月11日本山宥清寺にて高祖日蓮大士御会式が200名以上の人数制限を設けて奉修された。同時に御会式2座・3座の法要をYouTubeライブにて配信。当日、参詣が叶わなかった信徒が地元寺院や自宅などから視聴参詣をした。

日蓮宗 本山 御朱印めぐりセット 全国日蓮宗本山会監修 日蓮宗五十七本山の伝記と歴史の旅案内。幾星霜、信仰を支えてきた緑に映える伽藍の偉容、日蓮聖人とお弟子たちの歴史への旅案内。 全国五十七本山めぐり完全対応・必携の書。 頒価 3,300円 【税込・送料別】

ご家族と共に子孫に伝える信仰の証 日蓮宗全国五十七箇本山 御朱印めぐりセット 日蓮宗の本山五十七箇寺を巡り五十七紙の貫首さまの御首題に御朱印を拜受し巡る生涯忘れ得ぬ感動の旅を 監修 日蓮宗全国本山会 【セット内容】(箱入り) 57本山貫首さまの御首題 57紙+白紙3枚 計60枚 御首題携行帳 3帳(予備2帳) 参拝案内カード 57種(最新地図・交通情報) 手引書 1冊 ※参拝のワンポイント・団参コース等の案内 頒価 2,200円(税込・送料別)